

比嘉奈津美先生衆議院議員に初当選

「比嘉奈津美先生プロフィール」



昭和33年10月3日生
福岡歯科大学卒業（8期）
なつみ歯科医院

【主な所属団体】

日本歯科医師会男女共同参画委員
沖縄県歯科医師会 副会長
沖縄県歯科医師連盟 理事長
沖縄県歯科衛生時学校副校長
沖縄県振興審議会 委員

「選挙報告」

比嘉奈津美後援会

副会長 幸地 克 (5期)

12月16日開票の夜、比嘉奈津美選対本部事務所では、多くの支援者が静かにテレビを見つめておりました。他のすべての選挙区で当確が早々に放映されますが、やはり対抗馬との激戦を物語るように結果がなかなか出ません。そして、その瞬間重苦しい空気が一気に歓声に変わり、繰り返される万歳の中、衆議院議員比嘉奈津美が誕生しました。

今回の選挙では全国的に自民党に追い風が吹きましたが、当選挙区での最大の対抗馬候補者は現職の国会議員で地元では好感度の高い有名タレントです。当初から厳しい戦いになるのは必至でしたが、医師連盟をはじめとする県内各医療団体の推薦を受け衆議院解散から一カ月という短期の選挙戦が始まりました。

選考委員会では全会一致で選出された自民党公認候補ですが支援活動には支持母体である沖縄県歯科医師会の力が必要でした。我々歯科医にとって選挙はまったくの素人ですが短期戦では一日一日が勝負です。

同窓会の会員を始め50人ほどの歯科医師会会員が先ず始めたのがチラシ配り「ポスティング」でした。休日、夜明け前から、各家庭を回りますが、選挙区は離島をいくつも抱え広範囲にわたっております。また、平日は通

勤時間帯に交通量の多い交差点で揃いのイメージカラーの水色のジャンパーを纏っての「お手振り」。メガホン片手に知名度の低



沖縄タイムス社朝刊(12/17)から引用

3区

比嘉氏初当選

い奈津美候補の認知度をあげるのに有らん限りの声を絞り出して市民へのアピールでした。これらのことが一カ月の期間中雨の中でも繰り返されました。沖縄県同窓会は一丸となり出来ることをしたつもりですが、不安を払拭できずに最後の日を迎えました。

そして、当確の放送に沸く本部事務所で、おそらく同窓会の会員が誰よりも喜びにあふれ込み上げるものが大きかったはずですが、選挙を終え足りなかったもの、行き届かないことが多々あったと思います。それを踏まえてこれからの比嘉奈津美後援会の一員として沖縄県同窓会にはさらに結束して参ります。

「祝辞」

福岡歯科大学同窓会

会長 宮口 巖



同窓会会員の皆様、益々ご健勝の事とお喜び申し上げます。さて、先だって同窓会にてご支援お

願い申しあげておりました衆議院小選挙区（沖縄3区）の比嘉奈津美先生（8期生）が、見事に6万8千票の票を集め当選されました。これも、ひとえに同窓の皆様方の暖かいご支援の賜だと、本人に代わりまして厚く御礼申し上げます。我が同窓会初の衆議院議員として当選され、幅広く活躍が期待されます。地域代表ではありますが職域代表としても、歯科医療や福祉問題にも精通されておりますので、その方面でも多いに期待したいと思っております。

今後も、同窓の皆様には様々な形でいろいろとご協力をお願いすることもあろうかと思いますが、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。